

2011.3.11 原発事故がもたらしたものは…。それはわたしたちが暮らしを見直すこと。
 原発にたよらないで、生き生きと暮らす世界が
 自然エネルギーを中心につくっていけるとしたら…。
 都市に暮らすわたしたちが今できることを一緒にやりませんか？



～ドキュメンタリー映画上映会 & 講演会～
自然エネルギーによる暮らし実現のために

映画では、生活クラブの風車「夢風」が取り上げられ、「生活クラブでんき」の取り組みがとても丁寧に紹介されています

【前編】「おだやかな革命」上映会

～これからの時代の豊かさをめぐる物語～

日時：11月30日（土）

開場 13：30 上映 13：50～15：35
 交流会 自然エネルギー社会について話そう！
 ～16：45 終了予定

会場：ウイングス京都 セミナー室A B
 京都市中京区東洞院通六角下る

参加費：500円（お茶菓子つき）

託児あり（エッコロ加入者無料・一般ほか300円）
 持ち物；着替え、タオル、飲み物、おやつ、おむつ等



【後編】講演会

会津電力 佐藤彌右衛門氏から聞く

～「自立する地域」と「おだやかな革命」～

日時：12月8日（日）

開場 13：30 講演 14：00～16：15

会場：ウイングス京都 セミナー室 B
 京都市中京区東洞院通六角下る

参加費：100円

託児あり

（エッコロ加入者無料
 ・一般ほか300円）
 持ち物；11/30と同じ



【組合員のおすすめコメント】

「それぞれの地域にある自然エネルギーのもと（太陽光・風・水流・木材）を生かして、電気を作ることを実行した人たちのものがたり。嬉しくなって希望がもてた。」（フサさん）



組合員以外の方のお申込は電話でお願いします。
 連絡先：075-934-7371（平日9時～18時）
 生活クラブ京都エル・コープ（事務局：奥田）

おだやかな革命上映会(前編) & 講演会(後編)参加申込書

11/15(金)〆切

組合員申込

☆組合員氏名.....組合員番号.....前編・後編.....

☆参加お友達氏名.....前編・後編.....

参加お友達氏名.....前編・後編..... ☆参加人数 前編.....人・後編.....人

☆託児希望 お子さん氏名.....歳(組合員の子ども・お友だちの子ども)

お子さん氏名.....歳(組合員の子ども・お友だちの子ども)

前編 11/30(土) 上映会



おだやかな革命

Story

原発事故後に福島県の酒蔵の当主が立ち上げた会津電力。放射能汚染によって移住制限区域となった飯館村で畜産農家が立ち上げた飯館電力。岐阜県郡上市の石徹白、集落の存続のために100世帯全戸が出資をした小水力発電。さらに首都圏の消費者と地方の農家、食品加工業者が連携して進めている秋田県にかほ市の市民風車。自主自立を目指し、森林資源を生かしたビジネスを立ち上げる岡山県西粟倉村の取り組み。都市生活者、地方への移住者、被災者、それぞれがエネルギー自治を目指すことで、お金やモノだけでなく、生きがい、喜びに満ちた暮らしの風景が生まれている。成長・拡大を求め続けてきた現代社会が見失った、これからの時代の「豊かさ」を静かに問いかける物語。



秋田 Akita

日本海からの風が吹く、にかほ市にたつ大きな風車。生活クラブ生協が、この風車を起点にしたコミュニティづくりを続けている。地域にあたりまえに吹く風は、首都圏と地域の作り手を繋いでいった。



この映画には、静かに力強く、ふつふつと湧き上がってくる力があります。その力はあまりにも美しく、切なく、愛に満ちていて、胸が締め付けられそうにもなります。でも、そこに「光」を感じます。パンドラの箱に残った「希望」のように。

—— 鶴田真由 (女優)

福島 Fukushima

福島県には、震災後に2つの電力会社が誕生した。立ち上げたのは、原発事故により全村避難になった飯館村の元畜産農家と、綺麗な水で有名な喜多方市の酒蔵の当主。故郷を次の世代に繋いでいくための、二人の決意、葛藤とは。



ナレーション：鶴田真由 | 監督・編集：渡辺智史 | 撮影：佐藤広一 | 音楽：鈴木治行 | MA：中野坂上スタジオ | 協力：高橋真樹

2017年 / 日本 / 100分 / カラー / DCP・Blu-ray | 配給・製作：いでは堂 | 特別協賛：一般財団法人ふくしま自然エネルギー基金

取材協力 会津電力、飯館電力、石徹白農業用水農業協同組合、生活クラブ生活協同組合、西粟倉・森の学校、村楽エナジー、枝廣淳子、辻信一、広井良典 ほか

《映画「おだやかな革命」公式HP》<http://odayaka-kakumei.com>

[f](#) [t](#) [i](#) @odayakakakumei

後編 12/8(日) 講演会



佐藤彌右衛門さんプロフィール

◇さとう やうえもん

1951年、福島県喜多方市で200年以上続く酒屋・大和川酒造店の9代目当主。東京農業大学短期醸造科卒業後、大和川酒造店入社。2013年8月、会津電力を設立し社長に就任。現在、全国ご当地エネルギー協会・代表理事も務める。

会津電力 Story

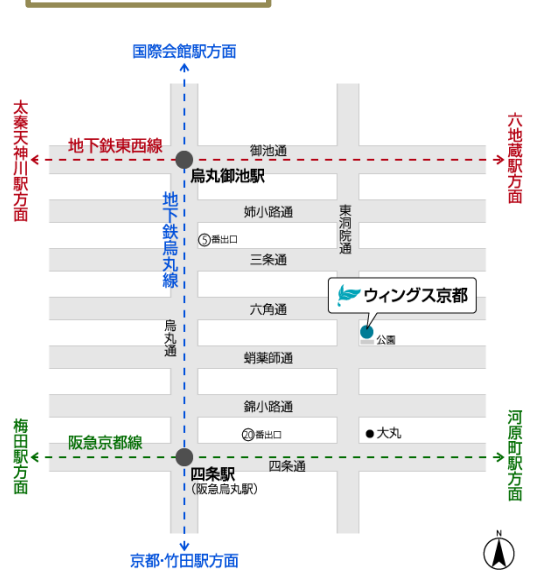
会津地方の食料自給率は1000%を超える。

しかし電気は、自分たちの地元の資源で作っているにもかかわらず買われていたのだと、原発事故後に改めて気づいた。電力も自給自足できる潜在力があると確信し、県内の電力エネルギー需要を、再生可能エネルギーのみで賄うことを可能にする体制づくりを理念とする会津電力株式会社を2013年8月に設立。

インタビューより

「16万人の『原発難民』を生んだ福島に、原発との共存はない。」福島の脱原発はイデオロギーではない。「今まで自分たちが地域社会の中でやってきた、「自らやって状況を具体的に進めていく、そのことで経済が変わったりしていく。その方が早い。」「その時にそこにあるのは「地域の自立」です。」

会場マップ



ウイングス京都

(京都市男女共同参画センター)
京都市中京区東洞院通六角下る

地下鉄烏丸御池駅 (5番出口) または
地下鉄四条駅・阪急烏丸駅 (20番出口)
下車徒歩約5分
一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。